

2015年5月13日

各位

日本特殊陶業株式会社

「人とくるまのテクノロジー展 2015」出展のお知らせ

日本特殊陶業株式会社（社長：尾堂真一、本社：名古屋市瑞穂区）は5月20日～22日の3日間、パシフィコ横浜(横浜市)にて開催される「人とくるまのテクノロジー展 2015」に出展しますので、下記の通りお知らせいたします。

記

●出展の見どころ

日本特殊陶業は「内燃機関の更なる発展と、これからのクルマ社会に貢献する日特の技術」をテーマに、燃費向上やエミッション低減をはじめ、社会に様々な形で貢献する製品を展示いたします。

新興国を中心にますます拡大することが予想される内燃機関関連では、ガソリンエンジンのトレンドである、ダウンサイジング高過給ターボ特有の“高放電電圧”に対応した「ターボ用高着火プラグ」を展示。ディーゼルエンジンに対しては、セラミックグローブプラグに燃焼圧センサを組み合わせ、異常燃焼の検知およびエミッション低減に貢献する「セラミック GIPS」を展示いたします。

また、これからのクルマ社会に貢献する技術として、従来の排気ガス中の酸素濃度検知による燃焼制御だけでなく、吸気側の酸素濃度を測定し燃費向上や窒素酸化物(NOx)生成量削減に寄与する「吸気酸素センサ」や、燃料電池自動車の安全確保において重要となる「水素漏れ検知センサ」をご紹介します。

加えて、コア技術である“セラミックス”を活かした各種自動車用センサ、車載デバイスに使用される半導体パッケージ、転がり抵抗の低減で省エネルギーに貢献する窒化珪素製ベアリングボールなど、幅広い分野でクルマ社会に貢献する製品を出展いたします。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

●ブースイメージ図



■日本特殊陶業株式会社について

当社は、1936年に創業し、名古屋市に本社を構える総合セラミックスメーカーです。内燃機関におけるスパークプラグ、排気酸素センサにおいては、世界トップシェアを有し、また、半導体部品におけるパッケージ、機械工具、医療用に用いられるバイオセラミックス、産業用セラミックスなど幅広いラインアップを提供しております。世界中に販売・製造拠点を有し、13,000名を超える従業員が世界の皆さまに新たな価値を提供できるよう取り組んでいます。現在は、持続可能な社会における環境エネルギー、次世代自動車、医療などの製品開発にも取り組んでいます。今後も、「ナンバーワンかつオンリーワンのものづくり」を目指し、変革と挑戦を続けてまいります。

詳細は、当社 Web サイトをご覧ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/company/event/index.html>

以上

■お問い合わせ先

広報室 抱井

電話:052-872-5896